

2021年1月6日

言語社会研究科

修士課程修了試験及び博士後期課程進学試験の論文提出について（2）

2020年度修士課程修了予定者の修了試験、博士後期課程進学希望者の進学試験のための論文提出について、2020年12月12日付の研究科Webサイトにおける掲示でお知らせしたところですが、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、提出方法等を一部変更します。下記をよく読んで適切に対応してください。

記

1. 持参提出について

現在のところ、本研究科では持参による提出を認めています。これに関して、例年、〆切の間際に事務室内で作業を行う学生が複数いるとのことですが、本年度はとくに新型コロナウイルス感染症対策の観点から、事務室での混み合った作業は回避する必要があります。

よって、本年度は、〆切当日4階大教室を作業用に開放しますので、そちらを利用してください。なお当然ですが、一度提出した論文は、その後修正を行うことはできません。また〆切は厳守してください。

2. 郵送提出について

上記12月12日付掲示で、郵送の場合も2021年1月12日（火）15:00までに必着としているところです。しかし、現在の新型コロナウイルス感染拡大の影響に鑑み、国内発送の場合に限り、2021年1月12日（火）以前の消印があるもので簡易書留としたものについては、消印有効とすることとします。なお、郵送提出を行った場合には、Google Classroomに諸情報を記入して同12日中に登録してください。クラスコード等は12日の午前中までにお知らせします。

3. 緊急事態宣言の影響について

緊急事態宣言が発令された場合でも、大学により学生の大学構内立ち入り禁止措置が取られない場合は、本研究科でも持参による提出の受付を継続します。万一、立ち入り禁止措置が取られた場合には、対応について、別途ご連絡します。

※修士論文の提出については今後さらに変更の可能性があるので、研究科ウェブサイトおよびメールを随時ご確認ください。

<https://gensha.hit-u.ac.jp/students/theses-guideline.html>